

6 教育環境の整備

基本目標4 一人ひとりの学びを支え、時代のニーズに応じた教育環境の整備

一人ひとりの多様な個性や能力を最大限伸ばすため、安心・安全な環境づくりを確保するとともに、老朽化している学校施設や社会教育施設等を計画的に改修していきます。また、市民の誰もが芸術文化やスポーツに親しみ、豊かな生活が送れるように、活動を支援します。

【令和元年度当初予算の主な事業】

(1) 学校教育環境の充実

- **学校施設の整備（小学校リニューアル事業）** 3億7,683万2千円（◎2億1,792万8千円）
（中学校リニューアル事業） 7億8,876万円（◎3億3,682万9千円）

学校施設の老朽化対策として、阿品台中学校特別教室棟及び管理特別教室棟の大規模改修工事を行います。また、児童生徒の生活様式等の変化に対応するため、小・中学校のトイレの洋式化を進めます。

- **トイレの洋式化の推進（小学校リニューアル事業）** 3億3,134万円
（中学校リニューアル事業） 1億1,630万円

- **学校給食施設の整備（学校給食施設維持管理事業）** 5,891万円（◎2,380万1千円）
安全で安心な学校給食を将来にわたって安定的に提供するため、津田小学校給食調理室及び吉和学校給食センターのドライシステム改修を行います。

(2) 世界にはばたく人材の育成

- **トップアスリートとの交流（スポーツ振興事業）** 200万円（◎100万円）
子どもたちにスポーツの楽しさを知ってもらい、元気なはつがいちっ子を育てるため、トップアスリートを招いたスポーツ教室等を開催します。

- **スポーツ活動への支援（スポーツ振興事業）** 1,100万円（◎1,200万円）
スポーツ活動による市民の健康づくりを推進するため、廿日市市スポーツ協会やスポーツ少年団への活動支援を行うとともに、関係団体と連携して、市民の生涯スポーツ活動を支援します。

- **スポーツ施設的环境整備（公園整備事業）** 1億5,104万円（◎9,618万8千円）
（体育施設管理運営事業） 406万4千円（◎677万9千円）
（スポーツセンター等管理運営事業） 5,767万4千円（◎750万円）

スポーツ活動の習慣化による体力の維持・向上と健康づくりを図るため、利用者が安全で快適に利用できるよう、佐伯総合スポーツ公園のトレーニング機器の更新やトイレ改修、廿日市市サッカー場の観覧スペースなどを整備します。

- ホストタウンの推進** **2,086万5千円** (◎3,000万円)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、メキシコ競技団体(柔道・空手)の事前合宿を受け入れ、市民とアスリートとの文化・スポーツ交流などを通して、機運の醸成を図ります。
- ASTCアジアトライアスロン選手権の開催** **3,000万円**

2020年のASTCアジアトライアスロン選手権を本市に招致することにより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図るとともに、地域の活性化、市民力の向上や将来を担う次世代の子どもたちが夢と希望を持って世界へはばたく契機となるよう事業を推進します。
- 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボールの開催(スポーツ振興事業)** **400万円**

地域スポーツ活動の活性化を図るため、元プロ野球選手による少年少女野球教室や市内野球チームとの交流試合などを開催するとともに、佐伯総合スポーツ公園全体を活用した交流イベントを実施します。
- 地域資源を活かしたまちづくり(文化振興事業・スポーツ振興事業)** **29万3千円**(◎32万8千円)

小学校において、「けん玉」を使った講演会を行い、けん玉の楽しさや継続して努力することの大切さなどについて、学ぶ機会を設けるとともに、わがまちの誇りと文化を継承します。また、スポーツ分野において、スポーツを通して青少年の健全育成や地域活動の活性化を図るため、ジュニアリーダー養成講習会を実施します。
- 障がい者スポーツ推進員の養成(スポーツ振興事業)** **13万6千円**

「廿日市市スポーツ推進計画」に基づき、障がい者のスポーツ参加を支援するため、障がい者スポーツ指導員を養成します。
- 文化芸術活動の推進(はつかいち文化ホール等管理運営事業)** **150万円**

市民の文化芸術活動を推進するため、公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団による「ほほえみコンサート(小学校訪問コンサート)」等を開催します。